

# 宇都宮市読書活動推進計画 概要版

## I 計画について

- 1 計画策定の必要性**  
「第1次図書館機能・サービス向上計画」、「第2次子ども読書活動推進計画」を策定し、読書活動の推進等を図ってきたが、電子図書などのICTへの対応や子ども読書のまち宇都宮の更なる推進、さまざまな市民の読書活動への対応や図書館の老朽化などの課題への対応が求められている。
- 2 計画策定の考え方**  
本市における市民の読書活動を総合的に推進していくためには、「図書館機能・サービス向上計画」と「子ども読書活動推進計画」を統合して一体的に推進することが効果的であることから、より大きな概念でのくりによる「(仮称)宇都宮市読書活動推進計画」として改定した
- 3 計画の位置づけ**  
「宇都宮市地域教育推進計画」に基づき人づくりを進める中で、特に本市の読書推進に焦点を当てた個別計画とし、関連する計画等との整合を図るものとする。
- 4 計画の期間**  
平成25年から平成29年までの5年間

## II 本市読書活動の現状と課題

### 1 読書活動を取り巻く状況

- (1) 社会情勢の変化**
  - 高度情報化社会、高齢社会の進展
  - 市民ニーズの高度化・専門化
  - 子どもの読書量の低下
- (2) 国や県の動向**
  - 「図書館法」等の改正による図書館の役割の明確化
  - 報告書による県立図書館像の明確化
- (3) 「第2次宇都宮市地域教育推進計画」**
  - 本計画の上位計画であり、「読書環境の充実」を取り組みのひとつとする。

### 2 これまでの取組の成果と課題

- (1) 第1次宇都宮市図書館機能・サービス向上計画**
  - ◎成果
    - 高度化・専門化するレファレンスへの対応
    - 資料の貸出数・予約数の飛躍的な増加
      - \*貸出数 約1.23倍：3,784,677点(H19)→4,636,568点(H24)
      - \*予約数 約2.07倍：264,812点(H19)→550,503点(H24)
    - 南図書館への一部指定管理者導入、管理運営体制の見直しの推進
  - ◎課題
    - 電子図書など新たなサービスや高度化するICTへの対応
    - 施設設備の計画的な改修
    - 図書館登録率の増加
- (2) 第2次宇都宮市子ども読書活動推進計画**
  - ◎成果
    - 子どもの読書量の維持・増加
      - \*小中学生の1か月の読書量(H24) 中核市トップクラス
      - 小学生28.5冊(10.5冊)、中学生9.2冊(4.2冊) ( )内は全国平均
  - ◎課題
    - 地域ぐるみの子ども読書活動の推進
    - 高校生の読書活動の推進

### 3 市民の意識

- 図書館利用目的は調べものや情報入手のため(50.6%)
- 図書館に望むことは、調べたいことがわかる本があること(80.5%)
- 図書館サービスで使ったことがあるのは、本の在庫調査や調べものの相談(73%)

### 4 今後の市民の読書活動推進に向けた課題

- (1) あらゆる市民の読書活動の充実**
  - 高校生や大人の読書活動の推進
- (2) レファレンス・課題解決型サービスの更なる強化**
  - レファレンスに的確に対応できるレファレンスツールの充実
  - 地域の課題解決に役立つ情報を収集提供することによる人づくり・まちづくり活動の支援
  - レファレンスに対応できる司書の能力向上
- (3) 子どもの読書活動の推進**
  - 小中学校への読書支援の継続
  - 高校生への読書推進事業の充実
  - ボランティアの人材育成
  - 特別支援学校などとの連携
- (4) ICTの導入促進と電子情報サービスの充実**
  - データベースなどによる情報提供の充実
  - デジタルアーカイブの推進
  - 電子図書等、新たな媒体の導入検討

### (5) 図書館の環境整備と適切な図書館運営

- 図書館サービスを、市民に広くPRするなど、更なる利用の促進
- 快適で誰もが利用しやすい施設への再整備
- 中央館機能の向上や他機関との連携など、効果的・効率的な管理運営体制の充実

## III 基本的な考え方

### 基本理念

「市民や地域の課題解決支援やICTへの対応など、読書環境の整備を図るとともに、子どもを含めた市民の読書活動を推進します。」

### 基本目標

- 1 多様な図書館サービスを利用するなど、あらゆる市民が読書活動に親しんでいます。**
  - 基本指標1 図書館資料の貸出冊数  
4,566,016点(H23) ⇒ 5,000,000点(H29)
  - 基本指標2 図書館の登録率  
33.1%(H23) ⇒ 34.6%(H29)
- 2 図書館、地域、学校の連携のもと、宮っ子が読書活動や学習活動に励んでいます。**
  - 基本指標3 高校生の1か月の読書量  
1.4冊(H23) ⇒ 2冊(H29)
  - 基本指標4 子どもの読書に関わるボランティアの活動人数  
1,236人(H24) ⇒ 1,600人(H29)
- 3 個人や団体、地域がそれぞれの課題を解決するために、図書館サービスを利用しています。**
  - 基本指標5 レファレンスに対する利用者満足度  
52.6%(H23) ⇒ 62.6%(H29)
- 4 市民が高度情報化に対応した資料や設備を利用し、ニーズに応じたデジタル情報を活用しています。**
  - 基本指標6 図書館のインターネット端末の利用件数  
21,305件(H23) ⇒ 30,000件(H29)
- 5 図書館の適切な環境整備と運営により、市民が快適に図書館を利用しています。**
  - 基本指標7 図書館の読書環境に関する利用者満足度  
82.0%(H23) ⇒ 85%(H29)

## IV 具体的方策

### 基本施策1 市民の読書活動の推進

#### 施策1 さまざまな市民の読書活動の推進

- ◎★読書活動ガイドブックの作成・配布
  - 図書館祭りの開催
  - ★読書活動の啓発事業の実施
  - ★カフェトーク(合同読書会)の開催
  - ビブリオバトル(知的書評合戦)の実施
- ◎ センター図書室等の地域性や利用者層に合ったサービスの提供
  - さまざまな利用者への情報提供の充実
  - 電子情報等への対応

#### 施策2 子どもの読書活動の推進

- 妖精ミュージアムにおける絵本の読み聞かせ
- 「家読(うちどく)」の推進
- 親学情報誌の発行
- ★読書活動の啓発事業の実施(再掲)
- 子どものためのレファレンスや調べ学習への支援
- 「うつのみやこども賞」事業の実施
- ◎ 学校図書館・読書活動の充実
  - 学校図書館の整備・充実
  - 学校図書館司書業務嘱託員等の育成
  - 図書館と学校図書館の連携の充実
- ◎ 高校生ボランティアによる中・高校生対象のサービスへの参画
  - 高校生の本や読書に関する情報交換・発信事業の実施
  - ★「高校生のための読書推進講座」の実施
  - 子どもや中・高校生(ヤングアダルト)向け図書館ホームページの充実
  - ★まちかどの学校・つげの木教室、とらいあんぐる(教育センター)へのサービスの実施
- ◎ 読み聞かせボランティア育成事業の強化

#### 施策3 レファレンス・課題解決型サービスの強化

- ◎ 地域資料・情報の収集と提供の充実
- ◎ 科学・技術・ビジネス情報提供サービスの充実
  - 宇都宮プロスポーツアーカイブ事業の充実
  - ★宇都宮のアグリビジネスブランド化への支援
- ◎ 子育て・家庭生活支援情報の充実

#### 施策4 ICTの推進や電子情報の提供

- ◎ 図書館情報システムの更新
- ◎ 図書館におけるICT環境の整備

### 基本施策2 適切な図書館運営や環境の整備

#### 施策5 効果的・効率的な管理運営体制の充実

- ◎ 管理運営体制の充実
  - 司書の専門性を発揮できる職員体制の整備
  - 自主財源確保に向けた取組の充実

#### 施策6 施設の再整備の計画的な推進

- ★図書館施設の改修・機能向上事業の推進

- ◎：重点事業
- ★：新規事業
- ：継続・拡充事業

## V 計画の推進

- 1 計画の進行管理** 事業の取組状況について、基本指標により進行管理を実施するとともに、進捗状況については、「社会教育委員の会議」や「参考人」へ報告し、意見を聴取する。
- 2 計画の推進体制** 本計画の着実な推進を図るため、施策・事業の実施にあたっては、図書館、生涯学習センター図書室等、さらに市民、家庭、学校等が連携することにより、様々な事業に取り組む。